

開発 NGO・環境 NGO ヒアリング調査票 (環境パートナーシップ会議 EPC) NPO アジア植林友好協会

1. フェースシート

a. 団体概要

所在地	西東京市田無町 3-5-4		
TEL・FAX	0424-51-6120		
URL	http://www.agfn.org/		
設立年月日	2002	主務官庁	東京都庁
代表者	宮崎林司	責任者	宮崎健人
事業対象分野	自然保護・国際交流		
事業形態	植林事業、国際交流事業		
事業目的	アジア地域での植林活動を通じての自然環境と民生向上への貢献		
事業内容 (うち海外活動)	インドネシアでの植林活動		

2. 支援地域情報

a. 支援対象地域 (アジアの都市名・村名)

活動対象国	インドネシア (東カリマンタン州、バリ州)
現地事務所所在地	
現地の協力団体	Yayasan Bali Hijau Lestari P T I n h u t a n i I 国立ムラワルマン大学 熱帯雨林研究センター
支援地域	東カリマンタン州バリクパパン市、バリ島
当該地域の抱える 問題 (支援の目的)	【バリクパパン市】バリクパパン市近郊の森は水がめの役割も果たしていますが、伐採、焼畑、山火事などの被害により、森林機能を失ってしまう状況にある。 【バリ島】自然災害や家具・木工品などを作るための過剰伐採によって森林が年々減少している。
貴団体の支援内容	【バリクパパン市、サマリンダ市】 ①林業と農業を融合したアグロフォレストリーによる”コミュニティーフォレスト”の造成事業。水源となる森へ補植を行い、周辺住民の収入向上のためのアグロ不フォレストリー (農林混合) の経営モデルをつくる。 ②「森林の減少」対策として林業の育成を目指す。 収益の期待できる樹種「チーク」を周辺住民の土地に植林し、林業の育成にすすめ、アグロフォレストリー収入機会の創出を目指しています。 ③「森林の劣化」対策として、国立ムラワルマン大学の演習林 (ブキツスハルト) の二次林および林業公社の保護林 (ブキツバンキライ) を対象として地場の樹種の「樹下植林」を行い、天然林の再生を目指しています。

【バリ島】

バリ州政府は『2010年緑のバリ』プロジェクトを立ち上げ、国内外を問わず協力を呼びかけています。このプロジェクトは、島の総面積のたった22.59%しかない現在の森林面積を、生態系の理想値といわれる最低30%以上まで取り戻す壮大なプロジェクトです。

アジア植林友好協会もバリ州知事およびバンリ県知事からの要請を受け、2007年3月よりキンタマーニ郡の過去の火山爆発により荒廃地となったバツール湖の周辺地に水源涵養林を造成に協力して、地場の樹種の植林を行っています。

現地のパートナーとして、NGO バリ緑化協会があります。

いずれの植林も基本的には「森林の劣化」と「森林の減少」に対応する事を目的としています。

これ以上の森林減少を止めるためには、①寄付による劣化した森林のエンリッチと②森林が壊された土地におけるコミュニティー林の育成により林業を育成して、持続可能な森林利用を勧める事を目指しています。

①と②を同時に実行するシステムを考案し実行しているのが

「生命の森づくり」「2イン1」=2本植えて、1本を伐採利用するシステムです。